

提出順	16	発言順	16	令和 3 年 11 月 24 日
				午前・午後 11 時 44 分受領

(1 枚中No. 1)

令和 3 年 1 1 月 2 4 日

(宛先) 安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員

増井 裕壽

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	2 0 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	SNS を活用した効果的な情報発信について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 市の防災行政無線が聞き取りづらいという声をよく耳にする。この聞き取りづらさを補完するために、 ^る テレフォンサービス、緊急告知機能付き防災ラジオに Yahoo の防災情報など、市民に情報が確実に提供できるように選択肢を増やしながらこれまで多様化してきたと思われる。 さらにここに Facebook、LINE などの SNS を追加し、新たな防災情報伝達手段として提案する。また、防災情報のみならず市政情報の包括的な情報伝達手段としても提案する。 ① 現在の市の SNS 活用についての現状と課題は ② 市で活用している SNS を「防災 SNS」として活用する計画はあるか ③ 安曇野市公式 Twitter アカウント以外に公式 Facebook、LINE を創設し、市政情報の包括的な情報伝達手段としての活用は			